

クオリティインディケーター（QI）成果報告

【リハビリテーション室】

指標名

リハビリテーション実施率の週日化

目標：ゴール

平日、土曜、日曜、祝日におけるリハビリテーション実施率の週日化

平日の実施率70%を下回らずに、土曜、日祝における実施率の増加

目標：ゴール達成による効果

リハビリテーションの早期開始、効率の良いリハ頻度を提供をすることで、早期退院と社会復帰に繋げる。

目標：ゴールに対する成果の状況

2023年度平均は、処方数一日平均137.4件に対して、平日72.6%、土曜48.8%、日祝33.1%の実施率であった。2024年度（途中報告）は、昨年度よりも処方数一日平均が16%増加しているの状況ではあるが、平日実施率70%を維持しながら、休日実施率も維持できている。

目標：ゴール達成度

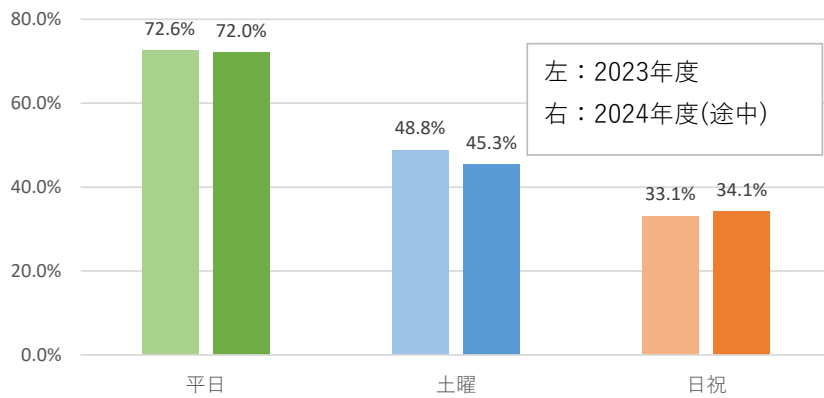
- ☐ S : 大幅な目標を上回った
- ☐ A⁺ : 目標を多少上回って達成
- ☒ A : 目標を達成
- ☐ B⁺ : 目標を少し下回った
- ☐ B : 目標を下回った
- ☐ C : 目標を大幅に下回った
- ☐ - : 外的要因より継続困難となった

目標：ゴールの課題・改善策

患者様個別的には、土日祝日関係なく、リハスタッフによるリハ時間提供を毎日おこなえることが理想的である。現状のリハスタッフ人数において、少なくとも土曜あるいは日祝のいずれか一日を提供し、連日リハ休みとならないようにリハ頻度の調整、およびリハスタッフ出勤数の調整を行った。また、リハスタッフによるリハ提供時間を調整できない場合は、自主運動の指導、または病棟看護師と協働して離床時間の確保を図るなどおこない、今後も多職種で連携して継続する。

その他

リハ実施率平均

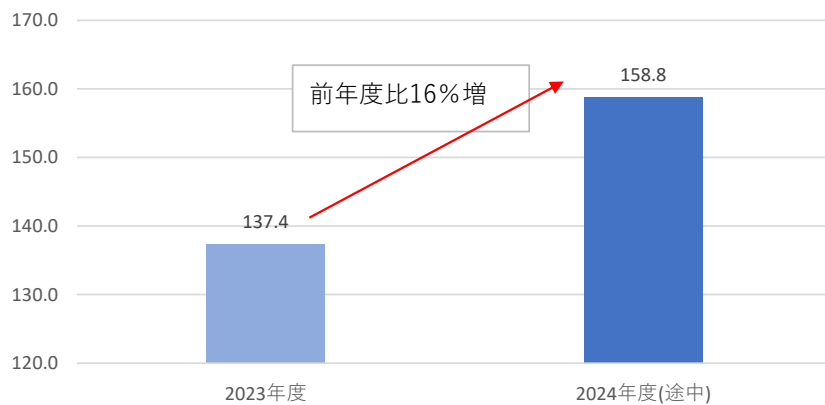


左：2023年度
右：2024年度(途中)

る指標

サービスなどの「質」について、
直で表したもの

処方数（一日平均）



前年度比16%増